

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和8年第27週(6月29日～7月5日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	25週	26週	27週	27週	27週
インフルエンザ	0	0	0	0.55	0.12
新型コロナウイルス感染症	0.33	4.33	10.00	6.45	1.47
RSウイルス感染症	1.00	9.00	10.00	1.42	0.37
咽頭結膜熱	●3.00	●2.50	0	0.48	0.45
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	2.00	1.00	2.23	2.06
感染性胃腸炎	4.00	3.00	4.50	2.74	4.45
水痘	0	0	0	0.23	0.32
手足口病	●11.50	●5.00	●6.50	●7.77	7.03
伝染性紅斑	0.50	0	0	0.06	0.06
突発性発疹	0.50	0.50	0.50	0.16	0.33
ヘルパンギーナ	1.00	0.50	0	1.13	1.77
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.06	0.05
急性出血性結膜炎				0	0.02
流行性角結膜炎				1.50	0.48
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.01
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.08	0.05
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.08	0.26
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.04

急性呼吸器感染症 (ARI)	27.00	26.67	32.00	56.84	50.88
----------------	-------	-------	-------	-------	-------

●：警報レベル ▲：注意報レベル

【トピックス】

手足口病に注意しましょう。

手足口病は、その名のとおり四肢および口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。乳幼児での発症が多く、例年報告数の9割程度を5歳以下が占めますが、大人でも感染する可能性があります。主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。主な原因ウイルスとしてコクサッキーウイルスA6(CV-A6)、CV-A16、エンテロウイルス71型(EV-A71)が知られています。

基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。例年6～7月に流行する傾向にあります。長崎県の第27週の定点当たり報告数は「7.77」で3週続けて減少しましたが、警報レベルの報告数が5週間継続しています。県央地区(17.60)、長崎地区(11.50)、佐世保地区(8.75)、西彼地区(8.67)、県北地区(6.50)は、警報レベルの報告数となっています。年齢別では、2歳以下で全体の約9割を占めています。今後も手洗いを励行し、感染防止に努め体調管理に気をつけましょう。

【トピックス】

腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう。

腸管出血性大腸菌感染症は、O157やO26をはじめとした「腸管出血性大腸菌」による感染症です。主な感染経路は、菌に汚染された食品や患者の便で汚染されたものに触れた手を介した経口感染です。2日から9日の潜伏期間の後、腹痛・水様性下痢・血便などの症状を呈します。無症状の場合もありますが、発症者の約6%から7%が、溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症などの合併症を起こし、時には死亡することもあります。特に、抵抗力が弱い小児や高齢者等は注意が必要です。

県内の過去5年の発生状況をみると、7月に最も多く報告があがっています。次の点に気をつけて感染予防に努めましょう。また、症状があるときは速やかに医療機関を受診しましょう。

○帰宅時やトイレ・オムツ交換の後、調理・食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう

○肉類を調理する際は十分に加熱しましょう

○生肉を調理する際、器具は専用のものにするか、使用後すぐに十分な洗浄・消毒をしてから他の調理に使用しましょう

○下痢症状のあるときは入浴は控え、シャワー浴または最後に入浴しましょう

長崎県県北保健所 地域保健課 健康対策班 TEL 0950-57-3933